

能代市教育委員会 事務点検・評価報告書

(平成26年度対象)

平成27年8月

能代市教育委員会

<参考>

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

目 次

I	点検・評価の趣旨等	1
1	点検・評価の趣旨	
2	点検・評価の対象	
3	学識経験者の知見の活用	
4	報告書の作成	
II	点検・評価の結果	
1	教育行政	
(1)	教育環境の整備	3
2	学校教育	
(1) - 1	主体的で創意に満ちた教育活動の推進（読書活動）	5
(1) - 2	主体的で創意に満ちた教育活動の推進（ふるさと教育）	9
(2)	基礎学力の向上を図る学習指導	12
(3)	心豊かでたくましい子どもをはぐくむ指導	16
(4)	幅広い識見と実践的指導力を培う教職員の研修	20
3	社会教育	
(1)	生涯学習推進・社会教育振興	23
(2)	文化芸術活動の振興と文化財の保存・継承	27
(3)	生活や地域における課題解決のための学習機会の提供	29
(4)	芸術文化の振興と福祉の増進を図る	33
(5)	図書館サービスの充実	36
(6)	気軽に交流できる環境づくり	40
4	生涯スポーツ（市民体育）	
(1)	スポーツを楽しめる環境を整える	43
III	教育委員会の運営状況	
(1)	教育委員会の開催状況	45
(2)	教育委員の活動状況	46

I 点検・評価の趣旨等

1 点検・評価の趣旨

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条の規定により、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たすため、教育委員会自らが、教育行政事務の管理及び執行状況について、点検及び評価を行い、その結果を報告書にまとめ、議会に提出するとともに公表いたします。

今年度においても、法律の規定に基づき、事業の点検・評価を実施し、今後のより効率的で効果的な事業の展開に資するものとします。

2 点検・評価の対象

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第21条で教育委員会の職務権限とされている事務のほか、本市教育委員会が所管するすべての事務を対象としますが、実際の点検・評価にあたっては、「能代市の教育」に記載されている施策を13項目に集約し、実施しております。

3 学識経験者の知見の活用

点検・評価の客観性を確保するため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第2項で、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図ることが求められておりますので、本市教育委員会では、教育に関し学識経験を有する次の2名の方から、意見をいただきました。

- 秋田大学教育文化学部教授 佐藤修司氏
- 元能代第二中学校校長 佐藤敬顕氏

4 報告書の作成

報告書の作成スケジュールは、次のとおりです。

- ①各課及び施設等において、所管事務の点検・評価案（点検・評価シート）を作成
- ②学識経験者から、点検・評価案について意見を聴取
- ③点検・評価案に学識経験者の意見を加えて、報告書として作成
- ④教育委員会8月定例会で、報告書について議決
- ⑤報告書を9月議会に提出するとともに、ホームページ等で公表

Ⅱ 点検・評価の結果

施策の項目	(1) 教育環境の整備
方針・目標	<p>①老朽化した小学校プールの改築事業を推進します。</p> <p>②社会教育施設等の耐震化を推進します。</p> <p>③小中学校体育館等の非構造部材の耐震化を推進します。</p> <p>④学校グラウンドの芝生化の効果等を検証します。</p>
目標値	<p>①淳城西小学校のプールを改修する。</p> <p>②二ツ井公民館、向能代公民館、B & G 海洋センター体育館の耐震補強実施設計を行う。</p> <p>③小中学校体育館等の非構造部材の耐震化を平成 30 年度までに 100%とする。</p> <p>④学校グラウンドの芝生化の効果等の検証を行う。</p>
事務事業の実績	<p>①老朽化した小学校プールの改築事業を推進した。</p> <p>○淳城西小学校のプール改修工事 (H26. 8~H26. 11)</p> <p>②社会教育施設等の耐震化を推進した。</p> <p>○二ツ井公民館、向能代公民館、B & G 海洋センター体育館の耐震補強工事実施設計</p> <p>③小中学校体育館等の非構造部材の耐震化を推進した。</p> <p>○第一中学校、二ツ井中学校の非構造部材耐震改修工事実施設計</p> <p>④学校グラウンドの芝生化の効果等を検証した。</p> <p>○芝生化の建設費等及び維持管理費の検証</p> <p>○芝生化している学校へのアンケートの実施</p> <p>○今後の方向性の検討</p> <p>○整備計画の検討</p>
点検・評価	<p><input type="checkbox"/>目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/>ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/>目標をやや下回る</p> <p><input type="checkbox"/>目標を大幅に下回る</p> <p>[説明]</p> <p>老朽化した小学校プールの改築事業の推進については、1校のプール改修事業が完了し、この事業は終了となった。今後は維持管理を行う。</p> <p>社会教育施設等の耐震化の推進については、二ツ井公民館、向能代公民館及びB & G 海洋センターについて実施設計を行った。</p> <p>小中学校体育館等の非構造部材の耐震化の推進については、2校の非構造部材耐震改修工事実施設計を行った。</p> <p>学校グラウンドの芝生化の効果等を検証した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・休み時間等に児童が外遊びすることが増えた。 ・児童のケガの減少・軽症化の効用等が認められる。 ・周辺への砂飛びを軽減する効果がある。

施策の項目	(1) - 1 主体的で、創意に満ちた教育活動の推進（読書活動）
方針・目標	児童生徒の感性を磨き、思考力や表現力を高め、創造力を豊かにするため、各校の年間計画の策定を進めるとともに学校図書館図書の実充を図りながら、読書活動を推進します。
目標値	<ul style="list-style-type: none"> ・すべての小・中学校が自校の特色を生かした上で読書活動の実充を図り、秋田県学習状況調査（小学4年から中学2年対象全調査）の質問紙調査で「読書が好きだ」について、「強く思う」「そう思う」の割合を80%以上にします。 ・学校図書館の図書の新規購入及び廃棄等の整理を進め図書の充実に努めます。
事務事業の実績	<p>① 「能代市子ども読書活動推進計画」に基づいた取組</p> <p>ア 各校の読書活動指導計画の作成（H26 7/26集約完了）</p> <p>イ 能代市読書交流パンフレット「能代っ子おすすめの一冊・心の一冊」を10、11月の読書週間に合わせて作成し、各校に配布。環境を整えるための掲示とし活用</p> <p>ウ 各校の特色ある読書を共有し、児童生徒の指導に生かすために、読書活動実践事例集を発行</p> <p>エ 特色ある読書活動を教育情報誌「教育のしろ」のコラム「読みの風景」等で紹介</p> <p>オ 図書事務補助員及び図書館担当教諭の研修機会の実施 （5/16 学校図書館担当者会議及び読書活動推進研修会を市立図書館と連携して実施。能代市立図書館の学校向け事業の紹介、図書館担当教諭と学校図書館事務補助員との協働による学校図書館運営について協議、各校の創意ある読書活動や授業における調べ学習のための環境整備について情報交換を実施）</p> <p>カ 学校支援ボランティアの活用促進（10小・中学校で実施） 他にPTA等の読み聞かせ、中学生の幼稚園等への読み聞かせ活動</p> <p>キ 市立図書館等との連携 学校への本の貸し出し（4校：第四小、浅内小、淳南小、淳西小） 館内見学（3校：淳西小、崇徳小、浅内小） 職場体験（3校：能一中、能二中、二ツ井中） 出前おはなし会（3校：朴瀬小、崇徳小、竹生小）の実施</p>

ク 「こども読書の日」に合わせ、図書の紹介（能一中、常盤小、朴瀬小、常盤中、東雲中）や読書指導（二ツ井中）、読み聞かせ（竹生小、崇徳小）、図書紹介集会（常盤中、能一中）を実施

ケ 秋田県学習状況調査によると1か月に5冊以上本を読む割合

学年	能代市	県比較
小学4年	63.5%	+10.3p
小学5年	51.9%	+ 9.5p
小学6年	44.1%	+12.5p
中学1年	20.8%	+ 2.5p
中学2年	17.0%	+ 1.8p

前年度は中学生が県平均を下回っていたが、今年度は全ての学年で県平均を上回った。

② 学校図書館図書標準達成状況の改善

ア 「学校図書館図書標準」の達成を目標とし、各校の学校図書館図書標準達成状況に応じた、図書整備費を措置した。適切な配置と廃棄を各校に助言した。

点 検 評 価

目標を上回る ほぼ目標どおり 目標をやや下回る
目標を大幅に下回る

[説明]

・平成26年度の秋田県学習状況調査の質問紙調査で「読書が好きだ」の割合は、小学4年から中学2年全体では82.5%となっている。

学年	能代市	県比較
小学4年	93.3%	+ 5.9p
小学5年	90.3%	+ 4.3p
小学6年	87.9%	+ 4.6p
中学1年	77.2%	- 4.3p
中学2年	73.3%	- 6.8p

今年度と同様に小学生で達成、中学生で未達成となっている。小学生では、県平均を上回っているが、中学生になると県平均を下回ってしまう。国語の時間を中心にどう図書資料等を活用させていくかが課題となっている。

・読書活動推進研修会をとおして、学校図書館の中に学習に関連した図書や新刊図書を集めたコーナーを設け、児童生徒に働きかける環境作りを工夫する学校が増えてきている。また、国語科における本の比べ読みや社会科や総合的な学習の時間における図書を活用した調べ学習を展開できるように環境整備も進んでいる。

	<ul style="list-style-type: none"> ・全小・中学校で、朝か昼に全校で一斉読書を実施している。新聞を活用したり、購入する本のアンケートをとったりするなど、特色のある読書活動が増えてきている。特に、能代第二中学校、能代南中学校、浅内小学校では、新聞を活用した学習（NIE）を実践し、新聞記事を切り抜いて自分の感想文を書いたり、大事な言葉を抜き出して要点をまとめたりする学習を重ね、読解力や思考力、表現力の向上につながっている。 ・さまざまな読み手による計画的な読み聞かせは、児童の楽しみな読書活動となっており、読書への関心を高めている。 ・学校図書支援員は、全小・中学校に対して配置し、児童生徒の読書指導や図書館の管理・運営、市立図書館との連携等において補助にあたっており効果を上げている。 ・前年度の学校図書館図書標準達成状況は89.8%であったが、今年度は95.3%に向上している。
<p>課題及び今後の取組の方向性</p>	<p>■<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> その他（ ）</p> <p>[具体的な課題及び取組]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読書活動推進研修会において、「目指せ！不読率0」というテーマを設定して研修会を行う。研修内容として、能代市立図書館から学校支援の概要の紹介、市教委からはビブリオバトル（※）など授業の中に読書を位置づけるための単元計画の提案、他校の実践例等、具体的な手立てを紹介して、自校での取組の参考にできるようにする。情報交換や協議もテーマに沿って行う。研修会において情報を共有し、協働による読書活動や学校間のネットワーク作りを推進する。 ※ビブリオバトル…本の魅力を紹介し合い、一番読みたい本を決める。 ・平成27年度から31年度「能代市子ども読書活動推進計画」を策定し、多読期に入る小4を対象に秋田杉ブックスタンド製作を企画する。また、「家読ノート」の趣旨を各小中学校に十分に説明した上で配付するなど読書活動の充実を図るための施策を講ずる。 ・国語の授業では、単元の指導計画の中に並行読書（※）を位置付け、読書への関心や態度を育む指導を充実させていくよう学校訪問等で指導する。 ※並行読書…教科書の教材文と並行して、関連する図書（同じ主人公や作家のシリーズ本など）を読書すること ・新学習指導要領では、各教科での学校図書館の学習センターとしての機能の充実を重視しているため、各校で各教科等の指導計画に図書の活用場面を位置付けるよう指導する。

	<ul style="list-style-type: none"> ・魅力ある学校図書館環境作りや読書活動を一層進めるため、学校図書支援員が中学校を会場に合同研修会を実施し、県立図書館の職員を講師に魅力的な図書館のつくりかたや情報交換を行う。(夏季休業中 会場は東中と二中) ・さらに学校図書館標準達成状況を向上させるために、図書の整理整頓に努めるとともに、廃棄する図書を厳選し必要な図書の補充を行っていくよう指導する。 ・読書活動推進研修会で提案した27年度の重点「不読率0」を全小中学校で取り組むために、具体的な実践例をまとめた冊子をつくり、27年度中に各校に配布してさらに読書活動に対する意識が高まるように支援する必要がある。
<p>学識経験者の意見</p>	<p>① 読書活動の推進に向けた取り組みが種々行われ、成果を挙げていることから、引き続き取り組んでいただきたい。小学校と中学校との差が激しいことから、その原因を明らかにして、改善に取り組んでいただきたい。</p> <p>② 平成26年度の秋田県学習状況調査の質問紙調査において、「読書が好きだ」と答えた小学校4年生から中学校2年生までの割合が全体では82.5%と、目標値の80%を上回ったことは、これまでの取組の成果と思う。今後は、未達成の中学校でも読書好きの生徒が増えるよう、本に親しめる環境づくりに、引き続き取り組んでいきたい。</p> <p>③ 読書活動推進研修会の実施を通して、市教育委員会と学校及び学校間のネットワークづくりが進み、読書活動に関する情報の共有・実践が一層充実してきている。</p> <p>④ 能代市読書交流パンフレット「能代っ子おすすめの1冊・心の1冊」の作成・配布は、子どもたちの読書意欲を喚起するうえで効果的であり、今後も継続してほしい。</p> <p>⑤ 学校図書館が、各教科の授業において、これまで以上に学習センターとして機能するための具体的な方策を考え、モデルとしてまとめてはどうか。</p>

施策の項目	(1) - 2 主体的で創意に満ちた教育活動の推進 (ふるさと教育)
方針・目標	児童生徒が地域の自然や人間、社会、文化等と触れ合う機会を重視することにより、ふるさとのよさの発見やふるさとへの愛着心の醸成を目指すために、各校のふるさと教育の趣旨を生かした教育計画づくりや人々との関わりから学ぶ体験活動を推進します。
目標値	・地域の特色を生かしたふるさと教育の全体計画を策定し、それを基に人々との関わりのある学習活動を行います。その成果を小学生ふるさと学習交流会や中学生ふるさと会議で発表します。
事務事業の実績	<p>① 地域の自然や人間、社会、文化を生かした教育計画づくりに基づいた取組</p> <p>ア ふるさと教育の趣旨を生かした教育計画づくりの呼びかけと各校の教育計画の確認</p> <p>イ 小学校で「ふるさと学習交流会」、中学校で「能代っ子中学生ふるさと会議」を開催</p> <p>ウ 特色ある教育活動を教育情報誌「教育のしろ」「ふいご」等で紹介</p> <p>② 人々とのかかわりから学ぶ体験活動の推進</p> <p>ア 学校支援ボランティアを活用した体験活動</p> <p>イ 助成金制度（常盤小・中の森林環境学習や鶴形小の森林環境支援事業等）を活用した体験活動の推進</p>
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る
	<p>[説明]</p> <p>① 各校とも、ふるさと教育の趣旨を生かした特色ある教育計画を策定している。</p> <p>② ふるさと学習交流会では、発表校の4校が次の内容について発表した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朴瀬小学校は地区の番楽・ささら ・鶴形小学校は鶴の恩返し隊 ・二ツ井小学校は田植え体験 ・第四小学校は沖縄との違いを通して能代のよさを学んだこと <p>他の8校の小学校もそれぞれの地域に関して学習した内容を発表した。</p> <p>次のような感想が寄せられた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小規模校の学校の発表の仕方や取組がとても素晴らしかった。 ・各校の発表を見て、学習の継続性を感じた。 ・小学生の発表を聞いて、わたしたちのふるさと能代を誇らしく思うことができた。 ・子どもたちの感性は豊かであり、熱い心をもっており、実行力もあると思った。

	<p>② 学校支援ボランティアについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 49名が登録をし、延べ111名が支援に当たった。課題として、登録してくれた方と学校の希望が合わないことがあった。 ・ 登録はしていないが、各校独自の働きかけで、学校の教育活動に協力している地域の方々がたくさんいる。学校と連絡を取り合い、希望する人材を派遣できるようにする。 <p>③ 週末体験活動について</p> <p>放課後子ども教室の週末体験活動は市全体で49回行われた。27年度も生涯学習・スポーツ振興課と連携しながら、各校に参加を呼びかける。</p> <p>④ ふるさとキャリア教育の推進について</p> <p>各校では、地域の教育力をいかしたふるさとキャリア教育を進めているが、その他自然のよさを十分味わうことができるよう推進する。</p>
<p>学 識 経 験 者 の 意 見</p>	<p>① ふるさと学習交流会、中学生ふるさと会議は、学校間の交流、世代間の交流にもなっており、今後とも継続して発展させていただきたい。今後、ふるさと教育、キャリア教育が子ども達にどのような効果をもたらしているのか、意識調査や進路調査などを通じて、明らかにしていただきたい。</p> <p>□ 人口減少、高齢化が予想以上のペースで進み、これまで各町内や各集落が行ってきた行事や活動の存続が危ぶまれている中、学校や児童生徒の担う役割は一段と大きくなってきている。各学校では、これまで以上に地域とのかかわりを大事にしてほしい。</p> <p>② 教育情報誌「教育のしろ」や「ふいご」の発行は、市内各校の特色ある教育活動や教員の実践に触れる機会を提供するとともに、貴重な研修の場となっている。</p> <p>③ 「ふるさと学習交流会」、「能代っ子中学生ふるさと会議」では、毎年、児童生徒のふるさとを誇りに思う気持ちと、ふるさとに貢献しようとする熱い思いが感じられ、すばらしいと思う。反面、回を重ねるにつれ、いささかマンネリの傾向を感じずる部分もある。今後は、これまで以上にキャリア教育に視点を当てるなど、何かひと工夫が必要ではないだろうか。</p>

施策の項目	(2) 基礎学力の向上を図る学習指導
方針・目標	児童生徒に主体的な学習の場を保証し、学力の向上を図ります。
目標値	<ul style="list-style-type: none"> 秋田県の学習状況調査（小学4年から中学2年対象悉皆調査）で、各学年・各教科において市平均が県平均を上回る結果となるようにする。質問紙調査において、学習意欲に関する評価項目で肯定的な評価が小学生で70%以上、中学生で50%以上、児童生徒同士の学び合いに関する評価項目で肯定的な評価が小・中学校とも85%以上を目指します。
事務事業の実績	<p>① 県学習状況調査の学校分析と補充・改善の実施、研究主任会での情報交換及び指導助言、報告書の提出（県調査後2月）</p> <ul style="list-style-type: none"> 個々の児童生徒の補充学習の実施の促進 学校や教師の課題を明確にした授業改善の促進 <p>② 学校訪問指導の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 県教育庁北教育事務所長、山本出張所長訪問への指導主事随行(6-7月) 市教委学校教育課指導主事による全学級訪問(7-10月) 市教育長訪問（学校教育課長、同参事、指導主事随行）(10-11月) 指導主事による要請訪問（講師への授業参観と指導助言も実施） <p>以上の通り学校訪問をする際、各校の課題を把握し、どのように授業改善しなければならないのかを具体的に指導助言した。</p> <p>③ 研修機会の提供と各校の情報共有</p> <ul style="list-style-type: none"> 全小学校の理科担当者を対象に「理科学力向上研修会」（6月）を開催し、理科の学習の進め方（授業の展開、板書、ノート指導、実験の基本）について講話や演習を実施し、指導力の向上を図った。 外国語活動研修会（7月）を開催し、教育専門監による模擬授業、指導体制や指導方法の情報交換を行った。 講師等研修会を2回開催し（8月、1月）、教材教具の活用の工夫について講話や紹介、自分の授業における成果と課題について情報交換を実施し、指導力の向上を図った。 各校の校内研究をまとめた紀要『教育課程の展開と実践』を発行(3月)した。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る
	<p>[説明]</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習状況調査（26年12月実施）の結果は、小学校では全教科で県平均を上回った。中学校では、10教科のうち9教科は県平均を上回っているが、中2の理科のみわずか0.1ポイント県平均を下回った。

- ・学習意欲は「勉強が好きだ」の割合

学年	能代市	県比較
小学4年	84.7%	+ 4.8p
小学5年	79.8%	+ 4.3p
小学6年	86.5%	+16.1p
中学1年	49.0%	- 6.9p
中学2年	44.5%	+ 0.9p

中学1年は、小学6年の時に県より1.5ポイント上回っていたため、小中連携を意識した、わかる、できる授業改善に取り組み、学習意欲を高めるための手立てを工夫していく必要がある。

- ・学び合いでは「ふだんの授業では、自分の考えが発表する機会がよくあると思う」の割合

学年	能代市	県比較
小学4年	90.2%	+ 2.4p
小学5年	90.0%	+ 1.5p
小学6年	97.9%	+ 7.1p
中学1年	90.8%	- 1.3p
中学2年	91.5%	- 0.3p

概ね良好な状況である。

- ・「ふだんの授業では、学校の友達との間で話し合う活動をよく行っていると思う」の割合

学年	能代市	県比較
小学4年	93.5%	+ 1.7p
小学5年	93.8%	+ 1.6p
小学6年	96.7%	+ 3.9p
中学1年	86.0%	- 6.4p
中学2年	91.5%	+ 0.1p

授業者が子ども主体の授業を構築しようとしていることがうかがえる。

㊸ 学校の小規模化が進み、小学校では単学級の学年が、中学校では教科部員一人の教科が増えており、これまでのような学校単位での研修に加え、地域やブロックでの研修の必要性が高まっている。そのような意味で、全小学校の理科担当者を対象とした「理科学力向上研修会」や複数の学校が協同で進める「拠点校・協力校英語授業改善プログラム」は、時宜を得た取組と思う。今後とも、学校と市教育委員会とが知恵を出し合い、よりよい研修体制を構築していきたいものである。

施策の項目	(3) 心豊かでたくましい子どもをはぐくむ指導
方針・目標	いじめや不登校等の生徒指導上の問題について、未然防止や早期発見・適切な対応に努めるために学校と関係機関の連携や学校・家庭・地域が一体となって子どもを育てる体制をつくります。
目標値	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめの未然防止、早期発見、適切な対応ができる体制をつくります。 ・不登校の出現率を1,000人当たり6.0人以下にします。 ・全国学力・学習状況調査（質問紙調査）「学校に行くのは楽しい」で、肯定的な回答をした児童生徒の割合を90%以上にします。
事務事業の実績	<p>① 心の教室相談員の配置 子どもたちが学校で気軽に悩み等を話し、ストレスを和らげるために相談員を配置し、心のゆとりをもてる環境を提供した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校12校中5校に4名配置 ・中学校7校全校に6名配置 ・1年間に心の教室を訪れた人数(延べ人数)10,546名（昨年度 12,262名） ・年間の相談件数 288件（昨年度 432件） ・相談員がかかわった不登校児童生徒の総数6名、内改善傾向5名（昨年度 総数11名、内改善傾向8名） ・いじめに関わる相談件数1件、内改善が見られた件数1件（昨年度3件、改善3件） <p>② 適応指導教室「はまなす広場」の設置 不登校児童生徒に対して、個別指導を通して学習意欲・自立心・社会性を育て、学校復帰への手助けをした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通級者9人 内復帰した児童生徒数4人（昨年度14人、内復帰9人） ・登校に向けて風の子電話との連携を強化 <p>③ 「風の子電話」の設置 電話や来所による教育相談を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間相談件数 電話19件 来所62件（内不登校に関する相談48件、いじめに関する相談5件、その他(進路や転学等)28件） ・学校や教育研究所、他機関との連携 ・適応指導教室との連携強化 <p>④ 不登校保護者会の開催 不登校児童生徒をもつ保護者の援助活動を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月第3木曜日19:00～21:00 延べ38名参加、うち1名が学校復帰

	<p>⑤ 児童生徒支援アドバイザーの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校に11回、中学校に18回訪問。風の子電話に寄せられた相談を把握するとともに、即学校に訪問し、学校といっしょに対応策を考えることができた。教育研究所運営協議会の中で、学校側から、生徒指導上の問題が生じたとき、すぐにアドバイザーが学校に訪問し、的確な助言をしてもらえることがありがたいという意見が出されている。 <p>⑥ 各小・中学校への指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不登校対策事業のリーフレット等を定期、随時に学校を通して保護者に配付し、ホームページへ掲載した。 ・毎月、支援を要する児童生徒（欠席日数の多少にかかわらず）の欠席日数、学校での状況と学校の対応、家庭での過ごし方等について報告を受け、取組について指導助言した。 ・市生徒指導主事会（年5回、内臨時生徒指導主事会を1回開催）で、情報交換と小・中学校の連携強化、未然防止に向けた取組を呼びかけた。 ・指導主事が全小・中学校へ出向き、「不登校・いじめ防止研修会」を市内全教職員に実施し、未然防止や早期発見、適切な対応を強化する取組を行った。 ・Q-U検査（「楽しい学校生活を送るためのアンケート」）をすべての小学校5・6年生と中学校1・2年生に年2回実施し、不登校やいじめ被害の可能性の高い生徒の早期発見に努めた。また、Q-U検査の効果的な活用のため、豊島区から講師を招き、研修会を開催した。中学校1年生の不登校生徒数6名（25年度、5名） ・心の教室相談員、教育相談員、スクールカウンセラーを校内の生徒指導研修会等に活用し、情報交換や校内連携を充実させた。
<p>点 検 評 価</p>	<p> <input type="checkbox"/>目標を上回る <input type="checkbox"/>ほぼ目標どおり <input checked="" type="checkbox"/>目標をやや下回る <input type="checkbox"/>目標を大幅に下回る </p> <p>[説明]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめは、小学校3件、中学校6件が報告されいずれも解消した。（前年度は小学校9件、中学校6件であった。各校が学校いじめ防止基本方針を策定し、具体的な行動計画を立てて取り組んだことがいじめの未然防止・早期発見につながった。） ・不登校の出現率は7.9人（児童生徒1,000人あたり）で、国の11.7人、県の8.8人（平成25年度）とも下回った。また、出現率が前年度の8.8人と比較しても下回った。 ・問題行動は、29件と前年比で6件増加している。内訳は、万引き及び窃盗が9件、喫煙及び飲酒5件、火遊び2件などであった。重大な問題行動が多く発生しており、各校に、規範意識の醸成や児童生徒が自己有用感を得るような指導をするよう周知した。

② いじめや不登校等、生徒指導上の問題の未然防止や早期発見においては、何よりも学級担任をはじめとする教職員の日頃の観察力がポイントとなる。児童生徒の気になる言動を見逃さないという生徒指導の基本的な部分について、機会あるごとに教職員に呼びかけていってほしい。

③ Q-U検査は、学級内での子どもたちの人間関係を把握するうえで有効であり、年2回の検査結果を活用して、中1ギャップの軽減やいじめ、不登校等の未然防止に役立ててほしい。

施策の項目	(4) 幅広い識見と実践的指導力を培う教職員の研修
方針・目標	・学校や教職員の課題に応じた研修機会の提供と充実により、教職員の識見を広げ、実践的指導力を向上させます。
目標値	・各研修会参加者の事後アンケートで「研修会の内容が実践に役立ったか」と「内容が分かりやすかったか」について、肯定的評価が4段階評価で3.5以上となるようにします。
事務事業の実績	<p>① 職務別研修を実施した。</p> <p>ア 教務主任・研究主任の合同研修会（7、1月） ・ミドルリーダーについての講義 ・情報交換</p> <p>イ 研究主任会（11月） ・豊島区教員派遣報告、教育専門監の授業DVDの活用</p> <p>ウ 特別支援教育担任等研修会（7月） ・秋大プロジェクトフェローによる講義</p> <p>エ 外国語活動研修会（7月） ・小学校5、6年生の担任を対象とした実践的研修</p> <p>オ 教員研修（1月） ・豊島区への教員派遣</p> <p>カ 中堅教員研修会（6月、8月、1月）</p> <p>② 教職経験者研修を実施した。</p> <p>ア 初任者研修（5、6月） ・1回目：服務及びいじめ・不登校防止についての講義、学習指導・生徒指導についての成果と課題、 ・2回目：能代市の主な施設の視察</p> <p>イ 講師等研修（8、1月） ・1回目：指導主事による講義、教材・教具の活用の工夫 ・2回目：教育専門監の模擬授業、授業における成果と課題の検討 ・学校訪問指導の際の指導主事による助言</p> <p>③ テーマ別研修を実施した。</p> <p>ア 読書活動推進研修会（5月と1月）</p> <p>イ モデルロケット研修会（5月）</p> <p>ウ 不登校、いじめ防止訪問研修会（5～7月）</p> <p>エ 情報モラルネットトラブル研修会（8月）</p> <p>オ 理科学力向上研修会（6月）</p>

<p>点 検 評 価</p>	<p> <input type="checkbox"/>目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/>ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/>目標をやや下回る <input type="checkbox"/>目標を大幅に下回る </p> <p>[説明]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・秋大と連携した特別支援教育研修会、情報モラルネットトラブル研修会等を企画・運営し、学校現場へ学校や市の課題に応じた研修会を提供することができた。 ・教育専門監の模擬授業の提示により、指導方法の改善に向け、具体を示すことができた。 ・中堅教員に対しミドルリーダーとしての自覚を促し、実践知の継承を意図的に行うことについて、各校に問題提起をすることができた。 ・それぞれの研修会で4段階の事後アンケートを実施したところ、参加者から内容が実践的で分かりやすかったなどの評価を得た。 <table border="0"> <tr> <td>合同研修会（教務・研究）</td> <td>1回目</td> <td>実践</td> <td>3.8</td> <td>内容</td> <td>3.7</td> </tr> <tr> <td></td> <td>2回目</td> <td>実践</td> <td>4.0</td> <td>内容</td> <td>3.9</td> </tr> <tr> <td>特別支援教育研修会（秋大連携）</td> <td></td> <td>実践</td> <td>3.8</td> <td>内容</td> <td>3.9</td> </tr> <tr> <td>初任者研修Ⅰ（ワークショップ）</td> <td></td> <td>実践</td> <td>4.0</td> <td>内容</td> <td>4.0</td> </tr> <tr> <td>初任者研修Ⅱ（視察研修）</td> <td></td> <td>実践</td> <td>4.0</td> <td>内容</td> <td>4.0</td> </tr> </table>	合同研修会（教務・研究）	1回目	実践	3.8	内容	3.7		2回目	実践	4.0	内容	3.9	特別支援教育研修会（秋大連携）		実践	3.8	内容	3.9	初任者研修Ⅰ（ワークショップ）		実践	4.0	内容	4.0	初任者研修Ⅱ（視察研修）		実践	4.0	内容	4.0
合同研修会（教務・研究）	1回目	実践	3.8	内容	3.7																										
	2回目	実践	4.0	内容	3.9																										
特別支援教育研修会（秋大連携）		実践	3.8	内容	3.9																										
初任者研修Ⅰ（ワークショップ）		実践	4.0	内容	4.0																										
初任者研修Ⅱ（視察研修）		実践	4.0	内容	4.0																										
<p>課 題 及 び 今 後 の 取 組 の 方 向 性</p>	<p> <input type="checkbox"/>拡充 <input checked="" type="checkbox"/>継続 <input type="checkbox"/>廃止検討 <input type="checkbox"/>その他（ ） </p> <p>[具体的な課題及び取組]</p> <ol style="list-style-type: none"> ① ミドルリーダーを育成する研修を充実させる。 <ul style="list-style-type: none"> ・中堅教員研修会の実施 ・教務主任・研究主任合同研修会の内容充実 ② 教科の指導力向上に関する研修を充実させる。 <ul style="list-style-type: none"> ・初任者研修、講師等研修における具体的な指導方法の提示 ・中核教員のテーマ別研修の充実 ③ 生徒指導の機能を指導に生かすための研修を充実させる。 <ul style="list-style-type: none"> ・いじめ・不登校防止訪問研修会（全19校悉皆訪問。5～7月実施） ・いじめ問題対策連絡協議会の実施を生かした情報発信 ・ネットトラブル防止の情報教育の実施 ④ 理科教育を充実させる。 <ul style="list-style-type: none"> ・子ども館のセンター的機能を生かした事業の拡充 ・理科担当者研修会 ・秋田大学と連携してのモデルロケット授業 ⑤ 特別支援教育を充実させる。 <ul style="list-style-type: none"> ・秋田大学との連携による研修会の実施 ⑥ ICT教育を推進するための環境づくりと教員の育成をする。 ⑦ 防災教育を充実させる。 <ul style="list-style-type: none"> ・地域防災委員会の設置・運営による事業の拡充 																														

	<p>⑧ 特色ある教育を推進する。(研究調査指定校)</p> <p>ア 拠点校・協力校英語授業改善プログラム事業 (拠点校 淳西小、能一中) (協力校 淳南小、第四小、能二中、東雲中、松陽高)</p> <p>イ 魅力ある学校づくり調査研究事業 (東雲中、向能代小、朴瀬小、竹生小)</p> <p>ウ コミュニティ・スクールの推進に係る委託事業 (鶴形小)</p>
<p>学 識 経 験 者 の 意 見</p>	<p>① 研修の機会が多様に用意され、教員の力量形成、学校の課題解決に有効に機能していると思われることから、今後とも継続していただきたい。 今後、校内研修との関連付けや、教員に対する要望調査の実施などとともに、教員の働きがい、多忙度等に関する調査も実施をお願いしたい。</p> <p>② 各研修会の事後アンケートでの参加者の評価が、目標値の3.5を上回っており良好と思う。今後とも諸課題の改善に立ち向かうことのできる教員を育てるべく、研修の場を提供してほしい。</p> <p>③ 「中堅教員研修会」の実施は、ミドルリーダーとしての自覚を促すとともに、指導力の維持・発展、継承という観点からも適切と思う。</p> <p>④ 「拠点校・協力校英語授業改善プログラム事業」や「魅力ある学校づくり調査研究事業」、「コミュニティ・スクールの推進に係る委託事業」の推進においては、各研究指定校が事業の目的の達成に向けて実効性のある取組を展開できるよう、県教育委員会と連携を図りながら、支援して行ってほしい。</p>

3 社会教育

【生涯学習・スポーツ振興課】

施策の項目	(1) 生涯学習推進・社会教育振興																																																
方針・目標	<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習社会の実現に向け、その核となる社会教育を充実させます。 家庭及び地域の教育力向上が重要課題であり、豊かな心、生きる力を育めるよう学校・家庭・地域が連携協力し各種施策を押し進めます。 																																																
目標値	<p>①第2次能代市社会教育振興中期計画（25年度～29年度）に基づく実施事業を70事業以上実施します。</p> <p>②生涯学習指導者、ボランティア登録者数を24年度末の40組から29年度には50組に増やします。</p>																																																
事務事業の実績	<p>○第2次能代市社会教育振興中期計画（25年度～29年度）に基づく実施事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 26年度実施事業数 85事業 <p>○学校・家庭・地域の連携協力</p> <ul style="list-style-type: none"> 放課後子ども教室推進事業（市内全小学校12校で実施） <table border="1" data-bbox="432 853 1385 1151"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">26年度</th> <th colspan="3">25年度</th> </tr> <tr> <th>学校数</th> <th>日数</th> <th>参加者数</th> <th>学校数</th> <th>日数</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平日図書室等開放</td> <td>7</td> <td>1,353</td> <td>25,289</td> <td>7</td> <td>1,362</td> <td>20,410</td> </tr> <tr> <td>土曜日体育館開放</td> <td>5</td> <td>123</td> <td>1,607</td> <td>5</td> <td>118</td> <td>1,714</td> </tr> <tr> <td>週末体験活動</td> <td>12</td> <td>49</td> <td>986</td> <td>12</td> <td>45</td> <td>935</td> </tr> <tr> <td>夏休みプール開放</td> <td>12</td> <td>176</td> <td>6,561</td> <td>12</td> <td>205</td> <td>8,025</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td>1,701</td> <td>34,443</td> <td></td> <td>1,730</td> <td>31,084</td> </tr> </tbody> </table> <p>○のしろDEマナブゥ事業（24年度から本格実施）</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業周知のため、全小学校児童へリーフレットを配布した。 ふるさとを学ぶ「マナブゥ講座」を開催した。39講座で延べ557人が参加した。 子どもたちが応募した「のしろのオリジナルキャラクター」をもとに、マナブゥカードを作成し、マナブゥ講座参加者へ配布した。 キャラクター応募数：38人 38種類 カード作成数：1,500枚 72種類 学校教育課との共催により「ふるさと学習交流会」を公民館祭に合わせて、文化会館で開催し、より多くの市民に子どもたちの学習成果を見てもらうことができた。（郷土芸能発表 1団体、ふるさと学習発表 4校） ◇26年度参加者数：509人 / 25年度参加者数：604人 ふるさと学習交流会の開催については、昨年度同様に広報（生涯学習のしろ）に掲載、地元新聞紙への掲載、発表する子どもたちがご招待カード（作成は生涯学習係）を配るなどPRを行った。 大ホールホワイエに全12校のふるさと学習の展示のほか、子どもたちが応募した「のしろのオリジナルキャラクター」を展示し、人気投票を行った。 		26年度			25年度			学校数	日数	参加者数	学校数	日数	参加者数	平日図書室等開放	7	1,353	25,289	7	1,362	20,410	土曜日体育館開放	5	123	1,607	5	118	1,714	週末体験活動	12	49	986	12	45	935	夏休みプール開放	12	176	6,561	12	205	8,025	合計		1,701	34,443		1,730	31,084
	26年度			25年度																																													
	学校数	日数	参加者数	学校数	日数	参加者数																																											
平日図書室等開放	7	1,353	25,289	7	1,362	20,410																																											
土曜日体育館開放	5	123	1,607	5	118	1,714																																											
週末体験活動	12	49	986	12	45	935																																											
夏休みプール開放	12	176	6,561	12	205	8,025																																											
合計		1,701	34,443		1,730	31,084																																											

- ・子どもたちが自由にマナブゥカードを介しながら、「学び」をとおして地域の方々とふれ合える「マナブゥ市」を開催した。

5/25 ミニマナブゥ市（のしろ子どもまつり）

10/ 4 マナブゥ市（ふるさと学習交流会 同日）

協力団体：14 団体

参加者数：延べ 594 人（※だがしやマナブゥ参加児童数を除く）

○家庭教育支援

- ・子育て各期における学習機会の拡充、異世代間の交流機会の拡充等のための講座を実施した。
- ・生涯各期の家庭教育への関わりから、次代の親及び祖父母対象の講座も併せて実施した。
- ・H25 年度に実施した参加型講座「親支援講座」を参考に、市子育て支援センター主催「おしゃべりサロン」がH26 年度から開催されることになり、学習機会の拡充につながった。

対象	講座名	26 年度		25 年度	
		講座数	参加者数	講座数	参加者数
保護者	家庭教育関係講座	27	699	38	1,421
次代の親	家庭教育関係講座	2	263	3	348
	社会参加活動推進事業「みんなで Action!」（命の大切さ事業含む）	13	中高生 88 受入団体 434	10	中高生 117 受入団体 299
祖父母	じじばばの孫かて講座	1	12	1	延べ 23
合 計		43	1,496	52	2,208

- ・「家庭教育に関する本」を貸し出した。 延べ 60 人、129 冊
- ・家庭教育支援事業推進会議を 1 回開催した。（3 月）
- ・家庭教育通信「Only one」を 3 回発行した。
- ・「ちょこっと家庭教育通信」を発行・配布した。 8 件 9 種
- ・家庭教育支援事業報告書を作成し関係者に配布した。

○青少年健全育成

- ・「平成 26 年度能代市青少年健全育成活動方針」を、市のホームページに掲載するとともに各自治会長や町内会長へ配布したほか、能代市青少年問題協議会の委員の所属する団体の総会や会議で会員に呼びかけ周知に努めた。
- ・家庭教育支援事業「みんなで Action!」を青少年育成能代市民会議とタイアップして実施した。（実績は家庭教育支援に記載）
- ・新成人で組織する実行委員会方式で成人式を行った。

○生涯学習指導者、ボランティアの養成

- ・生涯学習ボランティア登録者数は 53 組であった。
- ・「みんなで Action!」に多くの中学生・高校生ボランティアが参加することにより、社会活動への参加経験を積んでもらうことができた。
- ・淳城西小学校の正課クラブ活動「昔の遊び」、「囲碁」、「将棋」、「絵手紙」、「百人一首」、「郷土料理」、「和紙ちぎり絵」などで、地域の方々がボランティアとして指導を行った。

	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習奨励員がマナブゥ市で5ブースを企画運営し協力した。また、放課後子ども教室推進事業の講師、活動リーダーとして活躍した。 ・生涯学習のしろを広報見開き2ページで年2回掲載し、生涯学習の周知に努めた。 ・生涯学習ボランティアの活用を図るため、登録者名簿を整備し公表した。 ・生涯学習ボランティアでは対応できない学習ニーズについて、学習拠点施設や市ホームページにおいて広く市民へ呼びかけ、人材を発掘する仕組みとして「人*人 掲示板」の運用をH25年度から開始したが、積極的な活用には至らなかった。 <p>○子ども読書活動推進計画策定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「能代市子ども読書活動推進計画」を策定した。 計画期間：H27～31年度 策定委員会（9名）：3回 検討グループ会議（7名）：5回
点検・評価	<p> <input checked="" type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る </p> <p>[説明]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・①については、平成25年3月に第2次社会教育振興中期計画が策定されたことにより、平成25年度からこの計画に基づいて事業を実施することとし、その目標数を「70事業以上」とした。26年度実績は「85事業」であり、目標を達成している。 ・②については、最終目標値「50組」に対し、26年度実績が「53組」であり、最終目標を達成することができた。
課題及び今後の取組の方向性	<p> <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> その他（ ） </p> <p>[具体的な課題及び取組]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○引き続き、「放課後子ども教室週末体験活動」や「のしろDEマナブゥ事業」での体験学習の中で、地域人材の活用を図る。 ○「のしろDEマナブゥ事業」については、24年度に本格実施したが、これまでの実施状況・内容等を検証し、当事業の一層の充実に努める。 ○学校に対しても引き続き、ふるさと学習やクラブ活動に生涯学習ボランティア・地域人材の活用を働きかけていく。 ○25年度に設置した「人*人 掲示板」等のさらなる周知を図り、地域の人材を発掘し、生涯学習ボランティアの活用等につなげていく。 ○広報のしろ掲載の「生涯学習のしろ」等により情報提供に努める。 ○公民館祭、自主学習グループの作品発表など学習成果の発表の場を引き続き提供し、主催者と連携しPRに努める。

	<p>○市民の学習ニーズと現代的課題の把握に努め、事業の効果的な実施につなげていく。</p>
<p>学識経験者等の意見</p>	<p>① 小学校などとの連携が功を奏しており、引き続き連携の強化に取り組んでいただきたい。さらに、中学校、高等学校、特別支援学校等との連携にも取り組んでいただきたい。</p> <p>② 第2次能代市社会教育振興中期計画（平成25年度～29年度）に基づく実施事業数が、85事業、生涯学習指導者やボランティアの登録者数が53組と、いずれも当初の目標値を上回っており、日頃の取組の成果と思う。</p> <p>③ 「のしろDEマナブウ事業」は本格実施から3年目をむかえ、「マナブウ講座」には多くの市民が参加した。また、「ふるさと学習交流会」では、全小学校のふるさと学習の成果を大ホールホワイエに展示し、人気投票を行うなど、より多くの市民に子どもたちの頑張りを知ってもらうための工夫が見られる。</p> <p>④ 家庭教育支援では、子育て各期における学習機会の拡充や、異世代間の交流機会の拡充等をねらった講座を実施するなど、市民の学習ニーズに対応した取組になっている。</p> <p>⑤ 「放課後子ども教室推進事業」に参加した児童が、前年度よりも多くなっている。今後とも、地域の人材を活用するなどして、教室に通ってくる児童に対し、充実した体験活動を提供できるような教室経営をお願いしたいものである。</p>

3 社会教育

【生涯学習・スポーツ振興課】

<p>施策の項目</p>	<p>(2) 文化芸術活動の振興と文化財の保存・継承</p>
<p>方針・目標</p>	<p>市民文化振興事業と文化財保護事業を推進します。</p>
<p>目標値</p>	<p>○市民文化振興事業の推進 文化月間の入場者数は、展示部門では5,000人、舞台部門では800人を目標とします。</p> <p>○文化財保護事業の推進 指定・登録文化財数は、98件を維持します。 歴史探訪会の満足度は、5段階評価で4以上とします。 関係諸団体の活動を支援します。歴史ガイドの会・能代市民俗芸能連合会</p>
<p>事務事業の実績</p>	<p>○市民文化振興事業の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化月間の設定 ※ () 内は前年度 展示部門は10団体、入場者数は5,407人であった。(10団体、3,603人) 舞台部門は17団体、入場者数は795人であった。(16団体、760人) ・芸術文化団体への支援 能代ミュージカルキッズ公演・練習会場の使用料を負担した。 ・能代市栄光賞(文化部門)の授与 受賞者は89名〔銀39銅50〕であった。(75名〔金2銀8銅66〕) <p>○文化財保護事業の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定・登録文化財数は98件で、前年度と同数であった。 ・歴史探訪会を実施した。 「二ツ井地区・藤里町の天然記念物を巡る(共催)」 開催日：H26.6.14 参加者：26人〔評価：4.89〕 ・関係諸団体の活動を支援した。 歴史ガイドの会 養成講座の開催等 会員数45人(44人) 能代市民俗芸能連合会 合同公演・後継者育成事業支援〔補助金〕 ・史跡の除草を実施した。 檜山安東氏城館跡、杉沢台遺跡、柏子所貝塚、鴨巣一里塚 ・遺跡分布調査、発掘調査をした。 本調査1件、試掘5件、立会2件(本調査1件、試掘10件、立会1件) ・民俗芸能の継承を支援した。 子ども民俗芸能発表会 開催日：H26.11.16 4団体(2団体)

点検・評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る [説明] ○市民文化振興事業の推進 文化月間の入場者数については、展示・舞台両部門で前年度より大幅に増加し、目標値に達した。文化会館への指定管理者制度の導入効果もあると考えられる。 ○文化財保護事業の推進 指定・登録文化財数は目標値を達成している。 歴史探訪会については、参加者の満足度評価では4以上で目標を達成している。秋田県文化財保護協会能代支部と共催し、市民のニーズにあったテーマを設定できたが、開催回数が1回にとどまった。 以上により、ほぼ目標どおり事業を実施した。
課題及び今後の取組の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> その他 () [具体的な課題及び取組] 市民文化振興に関する事業はこのまま継続する。文化財保護については、文化財の適切な保存に努めるとともに、活用については民間団体等と連携し、市民の文化財に対する関心と理解を深めていく。また、檜山安東氏城館跡については、今後「史跡檜山安東氏城館環境整備計画」を策定し、史跡の保全と利活用を図る。
学識経験者等の意見	① 市民文化振興事業での入場者数の増は大きく、その要因について、指定管理者の取り組み内容などを含めて分析し、今年度以降につなげていただきたい。 ① 市民文化振興事業の推進については、文化月間の入場者数が展示・舞台の両部門で、前年度よりも大幅に増加しており、良好と思う。 ② 文化財保護事業の推進については、「歴史探訪会」への参加者の評価が、目標値の4以上を大きく上回っており、参加した皆さんの満足度の大きさがうかがえる。 ③ 子ども民俗芸能発表会への参加団体が、昨年度よりも増えている。今後とも、歴史ガイドの会や能代市民俗芸能連合会など関係諸団体の活動支援をお願いしたい。

施策の項目	(3) 生活や地域における課題解決のための学習機会の提供																																																																																																					
方針・目標	<p>(1)学習を通して、人と人をつなぎ、関わりをひろげていきます。</p> <p>①学習の成果を地域に活かす取り組みを推進します。</p> <p>②地域の住民が主体となって運営する学習体制のあり方を検討します。</p> <p>③青年層へ多様な学習機会を提供し、仲間づくりを支援します。</p> <p>④高齢者が「幸齢者」となるよう、学習を通して生きがいつくりの場を提供します。</p> <p>⑤社会教育施設等の適切な運営により、より良い学習環境の充実に努めます。</p> <p>(2)学校・家庭・地域が丸となり共に次世代を育む社会をつくります。</p> <p>①学校・PTA・地域が連携する行事の実施を支援します。</p> <p>②学校や関係団体、地域と連携し、参加しやすい体験活動を実施します。</p> <p>③保護者へ学習機会を提供し、家庭教育を支援します。</p> <p>④地域活動に必要な学習機会を提供します。</p> <p>(3) 指定管理者との連携を図り、地域市民へのサービス向上に努めます。</p>																																																																																																					
目標値	講座数及び参加者数は、過去3年間の平均値との比較で、同等あるいは上回るようにします。																																																																																																					
事務事業の実績	<p>1. 開設講座・事業数</p> <table border="1" data-bbox="459 1043 1241 1368"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>講座数</th> <th>回数</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>35講座</td> <td>186回</td> <td>11,006人</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>36講座</td> <td>205回</td> <td>10,435人</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>39講座</td> <td>219回</td> <td>11,110人</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>39講座</td> <td>240回</td> <td>12,358人</td> </tr> <tr> <td>H23～25平均</td> <td>38講座</td> <td>221回</td> <td>11,301人</td> </tr> <tr> <td>3ヵ年平均との比較</td> <td>△3講座</td> <td>△35回</td> <td>△295人</td> </tr> </tbody> </table> <p>2. 平成26年度開催講座内訳（地区公民館含む・数値は延べ数）</p> <table border="1" data-bbox="459 1458 1331 2054"> <thead> <tr> <th>分野</th> <th>おもな事業内容</th> <th>対象</th> <th>回数</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">家庭教育 (幼児教育)</td> <td>親子体験活動</td> <td>年長児と保護者</td> <td>2</td> <td>6組</td> </tr> <tr> <td>食育体験学習</td> <td>年長児～小学生3</td> <td>4</td> <td>40人</td> </tr> <tr> <td>保護者の学習</td> <td>保護者</td> <td>4</td> <td>129人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">少年教育</td> <td>体験活動・異年齢交流</td> <td>小学生3・4</td> <td>4</td> <td>64人</td> </tr> <tr> <td>体験活動(地区)</td> <td>地区小学生</td> <td>8</td> <td>149人</td> </tr> <tr> <td>青年教育</td> <td>ボランティア育成</td> <td>高校生</td> <td>9</td> <td>92人</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">成人教育</td> <td>テーマに沿った課題学習</td> <td>一般成人</td> <td>7</td> <td>78人</td> </tr> <tr> <td>集合学習(市民学校)</td> <td>一般成人</td> <td>62</td> <td>792人</td> </tr> <tr> <td>働く婦人の家主催講座</td> <td>一般成人</td> <td>8</td> <td>98人</td> </tr> <tr> <td>勤労青少年ホーム主催講座</td> <td>一般成人</td> <td>2</td> <td>20人</td> </tr> <tr> <td>高齢者教育</td> <td>集合学習(寿大学)</td> <td>高齢者</td> <td>56</td> <td>2,672人</td> </tr> <tr> <td>文化活動</td> <td>公民館祭・文化祭</td> <td>—</td> <td>18</td> <td>6,696人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">コミュニティ活動</td> <td>地域づくり講演会</td> <td>一般成人</td> <td>1</td> <td>130人</td> </tr> <tr> <td>地域交流(地区)</td> <td>一般成人</td> <td>1</td> <td>40人</td> </tr> <tr> <td colspan="3">合 計</td> <td>186</td> <td>11,006</td> </tr> </tbody> </table>	年度	講座数	回数	参加者数	H26	35講座	186回	11,006人	H25	36講座	205回	10,435人	H24	39講座	219回	11,110人	H23	39講座	240回	12,358人	H23～25平均	38講座	221回	11,301人	3ヵ年平均との比較	△3講座	△35回	△295人	分野	おもな事業内容	対象	回数	参加者数	家庭教育 (幼児教育)	親子体験活動	年長児と保護者	2	6組	食育体験学習	年長児～小学生3	4	40人	保護者の学習	保護者	4	129人	少年教育	体験活動・異年齢交流	小学生3・4	4	64人	体験活動(地区)	地区小学生	8	149人	青年教育	ボランティア育成	高校生	9	92人	成人教育	テーマに沿った課題学習	一般成人	7	78人	集合学習(市民学校)	一般成人	62	792人	働く婦人の家主催講座	一般成人	8	98人	勤労青少年ホーム主催講座	一般成人	2	20人	高齢者教育	集合学習(寿大学)	高齢者	56	2,672人	文化活動	公民館祭・文化祭	—	18	6,696人	コミュニティ活動	地域づくり講演会	一般成人	1	130人	地域交流(地区)	一般成人	1	40人	合 計			186	11,006
年度	講座数	回数	参加者数																																																																																																			
H26	35講座	186回	11,006人																																																																																																			
H25	36講座	205回	10,435人																																																																																																			
H24	39講座	219回	11,110人																																																																																																			
H23	39講座	240回	12,358人																																																																																																			
H23～25平均	38講座	221回	11,301人																																																																																																			
3ヵ年平均との比較	△3講座	△35回	△295人																																																																																																			
分野	おもな事業内容	対象	回数	参加者数																																																																																																		
家庭教育 (幼児教育)	親子体験活動	年長児と保護者	2	6組																																																																																																		
	食育体験学習	年長児～小学生3	4	40人																																																																																																		
	保護者の学習	保護者	4	129人																																																																																																		
少年教育	体験活動・異年齢交流	小学生3・4	4	64人																																																																																																		
	体験活動(地区)	地区小学生	8	149人																																																																																																		
青年教育	ボランティア育成	高校生	9	92人																																																																																																		
成人教育	テーマに沿った課題学習	一般成人	7	78人																																																																																																		
	集合学習(市民学校)	一般成人	62	792人																																																																																																		
	働く婦人の家主催講座	一般成人	8	98人																																																																																																		
	勤労青少年ホーム主催講座	一般成人	2	20人																																																																																																		
高齢者教育	集合学習(寿大学)	高齢者	56	2,672人																																																																																																		
文化活動	公民館祭・文化祭	—	18	6,696人																																																																																																		
コミュニティ活動	地域づくり講演会	一般成人	1	130人																																																																																																		
	地域交流(地区)	一般成人	1	40人																																																																																																		
合 計			186	11,006																																																																																																		

3. 自主学習グループ支援

- ・公民館使用料の減額、施設の優先予約
- ・公民館祭への参加（作品展示・芸能発表）
- ・新規会員募集グループ紹介活動
- ・その他学習相談への対応

年度	グループ数	人数	男	女
H26	239団体	3,523人	1,123人	2,400人
H25	247団体	3,736人	1,194人	2,542人
H24	250団体	3,849人	1,206人	2,643人
H23	263団体	4,667人	1,289人	3,378人
H23～25平均	253団体	4,084人	1,230人	2,854人
3カ年平均との比較	△14団体	△561人	△107人	△454人

4. 学習記録

- ・受講生による日誌制導入（中央公民館主催講座のみ）

5. 勤労青少年ホーム利用者連絡協議会

年度	利用グループ数	登録人数
H26	11団体	71人
H25	12団体	71人
H24	13団体	89人
H23	16団体	82人
H23～25平均	14団体	81人
3カ年平均との比較	△3団体	△10人

6. 働く婦人の家利用グループ

年度	利用グループ数	登録人数
H26	64団体	602人
H25	64団体	633人
H24	61団体	717人
H23	64団体	752人
H23～25平均	63団体	701人
3カ年平均との比較	1団体	△99人

[参考]

公民館年間利用者数（中央、旧能代地区6館、二ツ井、分館8館）
H24～124,223人、H25～118,291人、H26～116,029人
（3カ年平均：119,514人／年）

<p>点 検 ・ 評 価</p>	<p> <input type="checkbox"/>目標を上回る <input type="checkbox"/>ほぼ目標どおり <input checked="" type="checkbox"/>目標をやや下回る <input type="checkbox"/>目標を大幅に下回る </p> <p>[説明]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・過去3年間の平均値との比較で、講座数、回数、参加者数が減少した。 ・「親子わくわく教室」や「子ども料理教室」などのアンケート結果では、参加者のほとんどが「良かった」と回答した。 ・「地域探訪まちあるき」、「市民学校」、「中央寿大学」などの学習日誌や感想文からは、「とても楽しく勉強になった」、「継続開催してほしい」、「もっと回数を重ねて学習したい」などの意見や要望が多く寄せられ、講座に対する期待の高さをうかがえた。 ・自主学习グループは、13の団体が加入したが、高齢化等により解散する団体もありグループ数、人数ともに減少した。 ・勤労青少年ホーム利用者による連絡協議会は、グループ数・登録人員ともに減少した。働く婦人の家は、グループ数は同じだが、登録人員は減少した。
<p>課 題 及 び 今 後 の 取 組 の 方 向 性</p>	<p> <input type="checkbox"/>拡充 <input checked="" type="checkbox"/>継続 <input type="checkbox"/>廃止検討 <input type="checkbox"/>その他（ ） </p> <p>[具体的な課題及び取組]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講座へ参加しやすい環境をつくるため、時間帯（週末や夜間など）の設定や、地域行事や学校行事と重ならないような日程調整などに努める。 ・アンケートや日誌等の提出をお願いしている講座については、回収方法やアンケート内容を工夫し、回収率を高め、市民のニーズに応じた講座の企画に努める。 ・講座の情報提供は、広報やホームページを活用するほか、市内の公共施設や事業所などに対しポスターの掲示やチラシを配布するなど、より広く周知徹底を行う。 ・参加者が学習成果を地域づくりに生かせるよう、生涯学習ボランティアや「人*人掲示板」などを活用し、地域行事への積極的な参加を働きかけていく。 ・多様化する市民ニーズに効果的かつ効率的に対応し、市民サービスの向上を図るため、平成26年度から指定管理者制度を導入している。 （指定管理者：NPO法人能代市芸術文化協会） ・任意形式によるアンケート調査の実施を検討するとともに、目標値の変更についても検討する。

<p>学識経験者等の意見</p>	<p>① 少子高齢化、人口減少の中で、利用者数等に減少が見られることは避けられないように思われる。利用者数の維持・増加に向けて、これまででない視点、方策等を検討するとともに、利用者数等の指標以外の目標（利用者の満足度とともに、地域振興への貢献など）も検討していただきたい。</p> <p>① 開催講座数及び参加者数が、過去3年間の平均値を下回ったことは残念である。引き続き、市民の要望をもとに、開催講座の内容等について検討して欲しい。</p> <p>② 開催講座についての情報は、市の広報等を通して市民に周知されている。今後も、ホームページの活用やポスターの掲示等、多様な方法で周知に努めて欲しい。</p>
------------------	---

施策の項目	(4) 芸術文化の振興と福祉の増進を図る																																																																																
方針・目標	<p>①主催事業の企画実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民に優れた文化芸術の鑑賞機会をより多く提供します。 ・市民参加型的主催事業や共催事業に積極的に取り組みます。 <p>②文化芸術活動への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の文化芸術団体の活動を支援し、文化芸術の振興に努めます。 <p>③施設の効果的な活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積極的な広報活動に努め、利用者の拡大と施設の効率的な利用促進を図ります。 ・エントランスホールを活用し、ロビーコンサートを開催するなど、親しまれる文化会館を目指します。 <p>④指定管理者との連携を図り、地域市民へのサービス向上に努めます。</p>																																																																																
目標値	事業数及び入場者数は、過去3年間の平均値との比較で、同等あるいは上回るようにします。																																																																																
事務事業の実績	<p>平成26年度実績</p> <p>①主催事業</p> <table border="1" data-bbox="459 976 1362 1370"> <thead> <tr> <th></th> <th>開催日</th> <th>事業名</th> <th>内容</th> <th>入場者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>6/29(日)</td> <td>わらび座ミュージカル「小野小町」</td> <td>ミュージカル</td> <td>700</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>7/12(土)</td> <td>仲道郁代ピアノリサイタル</td> <td>ピアノリサイタル</td> <td>461</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>9/20(日)</td> <td>第10回みんなで歌うコンサート</td> <td>ステージと客席が一体になって歌うコンサート</td> <td>318</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>10/25(土)</td> <td>藤井フミヤコンサート</td> <td>藤井フミヤ</td> <td>1,081</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>11/30(土)</td> <td>天羽明恵・鈴木大介デュオコンサート</td> <td>天羽明恵・鈴木大介</td> <td>245</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>12/14(日)</td> <td>こどもオペラコンサート</td> <td>オペラ</td> <td>400</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>3/1(日)</td> <td>第15回のしるクラシックコンサート</td> <td>クラシック</td> <td>400</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>26年度合計</td> <td>7回開催</td> <td>3,605</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>H23～25平均</td> <td>7回開催</td> <td>4,391</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>3ヵ年平均との比較</td> <td></td> <td>△ 786</td> </tr> </tbody> </table> <p>②会場提供型共催事業（教育委員会共催）</p> <table border="1" data-bbox="453 1469 1362 1662"> <thead> <tr> <th></th> <th>開催日</th> <th>事業名</th> <th>内容</th> <th>入場者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>8/31(木)</td> <td>ノシロックフェスティバル2015</td> <td>市内バンド及びプロのバンドによるコンサート</td> <td>400</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>26年度合計</td> <td>1回開催</td> <td>400</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>H23～25平均</td> <td>3回開催</td> <td>2,220</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>3ヵ年平均との比較</td> <td></td> <td>△ 1,820</td> </tr> </tbody> </table>		開催日	事業名	内容	入場者数	1	6/29(日)	わらび座ミュージカル「小野小町」	ミュージカル	700	2	7/12(土)	仲道郁代ピアノリサイタル	ピアノリサイタル	461	3	9/20(日)	第10回みんなで歌うコンサート	ステージと客席が一体になって歌うコンサート	318	4	10/25(土)	藤井フミヤコンサート	藤井フミヤ	1,081	5	11/30(土)	天羽明恵・鈴木大介デュオコンサート	天羽明恵・鈴木大介	245	6	12/14(日)	こどもオペラコンサート	オペラ	400	7	3/1(日)	第15回のしるクラシックコンサート	クラシック	400			26年度合計	7回開催	3,605			H23～25平均	7回開催	4,391			3ヵ年平均との比較		△ 786		開催日	事業名	内容	入場者数	1	8/31(木)	ノシロックフェスティバル2015	市内バンド及びプロのバンドによるコンサート	400			26年度合計	1回開催	400			H23～25平均	3回開催	2,220			3ヵ年平均との比較		△ 1,820
	開催日	事業名	内容	入場者数																																																																													
1	6/29(日)	わらび座ミュージカル「小野小町」	ミュージカル	700																																																																													
2	7/12(土)	仲道郁代ピアノリサイタル	ピアノリサイタル	461																																																																													
3	9/20(日)	第10回みんなで歌うコンサート	ステージと客席が一体になって歌うコンサート	318																																																																													
4	10/25(土)	藤井フミヤコンサート	藤井フミヤ	1,081																																																																													
5	11/30(土)	天羽明恵・鈴木大介デュオコンサート	天羽明恵・鈴木大介	245																																																																													
6	12/14(日)	こどもオペラコンサート	オペラ	400																																																																													
7	3/1(日)	第15回のしるクラシックコンサート	クラシック	400																																																																													
		26年度合計	7回開催	3,605																																																																													
		H23～25平均	7回開催	4,391																																																																													
		3ヵ年平均との比較		△ 786																																																																													
	開催日	事業名	内容	入場者数																																																																													
1	8/31(木)	ノシロックフェスティバル2015	市内バンド及びプロのバンドによるコンサート	400																																																																													
		26年度合計	1回開催	400																																																																													
		H23～25平均	3回開催	2,220																																																																													
		3ヵ年平均との比較		△ 1,820																																																																													

③ロビーコンサート（市民が参加発表し、無料で会場を提供）

◇8回開催 入場者数：840人

	開催日	事業名	内 容	入場者数(人)
1	4/6(日)	第73回 ロビーコンサート	能代西高吹奏楽部	100
2	5/11(日)	第74回 //	母の日に贈るコンサート	100
3	7/21(日)	第75回 //	コカリナ演奏	100
4	12/23(火)	第76回 //	弦楽器とピアノの合奏	120
5	1/11(日)	第77回 //	声楽アンサンブル	100
6	2/15(日)	第78回 //	能代二中吹奏楽部	100
7	2/21(土)	第79回 //	能代工業高校吹奏楽部	100
8	3/14(土)	第80回 //	能代一中吹奏楽部	120
		26年度 合 計	8回開催	840
		H23～25平均	8回開催	743
		3ヵ年平均との比較		97

[参考]

文化会館年間利用者数

H24～101,425人、H25～96,529人、H26～104,621人、
(3ヵ年平均：100,858人/年)

○市民芸術文化祭（能代市芸術文化協会主催事業）

区分	展 示 部 門	舞 台 部 門
H26	10団体 入場者数 5,407人	17団体 入場者数 795人
H25	10団体 入場者数 3,603人	16団体 入場者数 760人
H24	12団体 入場者数 3,354人	16団体 入場者数 863人
H23	12団体 入場者数 4,598人	19団体 入場者数 841人
H23～25平均	12団体 入場者数 3,851人	17団体 入場者数 821人
3ヵ年平均 との比較	△2団体 入場者数 1,556人	0団体 入場者数 △26人

点 検 評 価

目標を上回る ほぼ目標どおり 目標をやや下回る
目標を大幅に下回る

[説明]

・鑑賞型主催事業は催物のジャンルに偏りがないよう計画した。総入場者数は3ヵ年平均に対して若干減少したが、主催事業の際に行っているアンケートでは満足度の高い回答が多く寄せられている。

事業名	大変満足	満 足	やや不満	不 満
わらび座 「小野小町」	30	4	0	0
仲道郁代	118	32	0	0
藤井フミヤ	45	3	0	0
天羽・鈴木	56	14	0	0

・会館を気軽に活用したロビーコンサートは、3ヵ年平均との比較では回数は同じであるが、入場者は増加し、今後の中・大ホールの利用に繋がる、芸術文化活動の育成と参加の促進ができた。

<p>課題及び 今後の取組の 方向性</p>	<p> <input type="checkbox"/>拡充 <input checked="" type="checkbox"/>継続 <input type="checkbox"/>廃止検討 <input type="checkbox"/>その他（ ） </p> <p>[具体的な取組]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主催事業費の増加は厳しく、現状維持が予想されることから、各種助成制度を活用した事業の企画を推進しながら、ホームページ等あらゆる機会を通して利用促進を図る。 ・主催事業時に行っているアンケート調査方法を工夫するとともに、その結果を活用し、今後の主催事業を検討する。 ・指定管理者の能代市芸術文化協会のノウハウを活用した事業の展開を図る。 ・27年度練習室等の冷暖房用ファンコイル改修工事等により、施設利用者の利便性が向上するよう努める。
<p>学識経験者等 の意見</p>	<p>① 利用者増に向けた取り組みが着実に進められており、今後とも継続していただきたい。</p> <p>② 主催事業については、総入場者数が過去3年間の平均値を下回ったものの、入場者へのアンケート結果からは、満足度の高い回答も多かったということである。今後、事業の検討に当たっては、アンケート結果をおおいに参考にしてほしい。</p> <p>③ ロビーコンサートでの入場者数は、過去3年間の平均値を上回っており、利用者にとって利用しやすい環境になっていることがうかがえる。今後も市民の発表の場として、ロビーの提供をお願いしたい。</p>

施策の項目	(5) 図書館サービスの充実														
方針・目標	市民の学習要求に応えるため、必要な資料を広く収集・整理・提供するとともに、生涯学習や生活に役立ち、利用しやすい図書館となるよう努めます。														
目標値	快適な読書環境を提供し、より多くの住民に利用されるよう、毎年実施する利用者満足度調査の評価ポイント5段階中4ポイント以上を目指します。														
事務事業の実績	<p>○来館者数 (H26.5月カウンター設置) ◇H26年度来館者数 90,115人 (H26.5～H27.3)</p> <p>○図書館資料の充実 <蔵書数> H26 170,553冊 (うち郷土資料 14,475冊) H25 166,572冊 (うち郷土資料 14,188冊) ・特色ある蔵書づくり「木に関するコーナー」H26 1,704冊 / H25 1,693冊 「宇宙コーナー」、「家読コーナー」</p> <p>○サービス活動の充実と利用の拡大 <貸出冊数></p> <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>個人貸出</th> <th>団体貸出</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>147,829冊</td> <td>10,203冊</td> <td>158,032冊</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>152,523冊</td> <td>9,889冊</td> <td>163,412冊</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right; margin-right: 40px;">(H26) (H25)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レファレンス・サービス (参考調査)、読書案内 2,245件 2,905件 ・リクエスト (予約) サービス 5,852冊 5,843冊 ・障がい者サービス (家庭配本) 135冊 123冊 ・県立図書館等公共図書館との相互協力 借受 611冊 549冊 貸出 613冊 610冊 ・ホームページの整備と管理 アクセス数 31,641件 31,670件 <p>○企画、展示 ・としょかんおみくじ 年明けに「図書館おみくじ」を行って読書活動の推進を図った。 (大人用 300枚 150冊選書 / 子ども用 100枚 家読お勧め本を選書) ・子育て支援関連コーナーの設置 ・としょかん福袋 (年末 大人用 10袋 / 子ども用 10袋) ・おやこわいわいルーム (H26 182人利用 / H25 224人) ・宇宙コーナーに関する本の展示 (H26 705冊貸出 / H25 855冊) ・家読 (うちどく) コーナーの貸出 ・インターンシップおよび職場体験実習者のおすすめ本コーナーの設置 ・「ブラウブリッツ秋田とエンジョイ読書」(9月) コーナーの設置 ・金沢市海みらい図書館との交換展示 (10月) ※北前船寄港地による観光PR ・「秋田ノーザンハピネッツとハッピー読書」(11月) コーナーの設置</p>				個人貸出	団体貸出	合計	H26	147,829冊	10,203冊	158,032冊	H25	152,523冊	9,889冊	163,412冊
	個人貸出	団体貸出	合計												
H26	147,829冊	10,203冊	158,032冊												
H25	152,523冊	9,889冊	163,412冊												

○市や社会教育施設等との連携

- ・生涯学習・スポーツ振興課との連携：「子育て・家庭教育に関する本」の貸出
小学校向けと保育所向けの本2セット(1セット15冊)を、各月ごとに施設へ設置
- ・環境関連図書の展示、紹介、貸出(6月 県環境企画班)
- ・男女共同参画関連図書の展示、貸出(6月下旬 市民活力推進課)
- ・健康づくり課との連携
3歳児検診時に、保健センターへの育児関係本や絵本の配本(毎月)
- ・「どの本読もうかな」を市内保育園等に配布(年4回)
(読み聞かせおすすめ絵本の紹介)

図書館講座

	事業内容	参加者数
H26	大人のための朗読会(高校)	38人
H25	大人のための朗読会(高校)	19人
	「家読」講演会	27人
	「秋田のことば」を考える	40人

○子どもの読書活動の振興

◇学校との連携・支援

- ・出前おはなし会

	対象校	参加者数
H26	小学校3校	72人
H25	小学校6校	331人

- ・一日図書館員(小学校6年生) 2人
- ・学校図書館担当者研修会 33人
(市立図書館の学校向け事業について)
- ・学校図書館への配本事業 市内各小学校へ50冊1年間貸出
- ・学校への希望図書の配本

	利用校数	利用回数	利用冊数
H26	4校	12回	347冊
H25	4校	17回	275冊

◇児童サービスの充実

- ・おはなし会

	回数	参加者数
H26	25回	278人
H25	26回	219人

◇ボランティアとの連携

・図書館劇場

	回数	参加者数
H26	3回	140人
H25	4回	204人

・おはなし会（※児童サービスの充実に記載）

○利用者満足度調査

	回答者	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	満足度
H26	276人	133人	92人	46人	5人	0人	4.28
H25	252人	128人	85人	34人	5人	0人	4.33

※評価は5段階。

「満足」は5 「やや満足」は4 「普通」は3 「やや不満」は2 「不満」は1

○雑誌スポンサー制度（H26年4月導入）

雑誌コーナーの充実を図るため、企業、商店、団体等を対象に「雑誌スポンサー」を募集した。雑誌は、図書館利用者の閲覧ひん度が高い資料なので、高い広告効果が期待できる。

◇H26年度スポンサー数 5件 / 雑誌 8誌

点 検 評 価

目標を上回る ほぼ目標どおり 目標をやや下回る
目標を大幅に下回る

[説明]

○貸出冊数が減少した。

○学校及びボランティアの協力を受けながら子どもの読書活動の振興に努めた。

○継続事業である高校生による「大人のための朗読会」を8月に開催した。

（参加校は3校で、各校とも独自の取り組みで朗読を披露、本の楽しさを伝えていた。）

○「図書館利用者満足度調査」において、全体的にみた図書館に対する満足度（5点満点中）は、26年度4.28で、25年度4.33を0.05下回った。

○毎月の3歳児検診時に、母親用に子育て関係図書や子ども用に絵本を保健センターに配本し、図書の活用で育児支援を図った。

○ハピネッツやブラウブリッツの選手おすすめの本の展示や金沢海みらい図書館との交換展示を行い、新規利用者の獲得を図った。

○「としょかん福袋」や「図書館おみくじ」を行って読書活動の推進を図った。

<p>課題及び今後の取組の方向性</p>	<p> <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> その他 () </p> <p>[具体的な課題及び取組]</p> <p>○平成27年度から指定管理者制度を導入したことから、住民サービスの向上を図るため、指定管理者と連携を取りながら事業を推進していく。 なお、H27.4月からは、開館時間が9時から19時まで延長され、月曜日を除く祝日は開館している。</p> <p>○年々増加する図書資料に対応するため、書庫の収容スペースの検討を行う。</p> <p>○市民の学習要求及び利便性に応えられるよう図書資料の充実を図る。 (図書3,900冊購入予定。所蔵のない図書は相互貸借制度で他図書館から借受)</p> <p>○学校や家庭、関係機関との連携を図りながら、読書活動の充実に努める。 (県で選定した推奨図書50選と当館推薦図書を展示し貸出を行い、「家族で読書」活動を推進していく。また、家読ノートの活用や家読メモ帳の配布などを通し周知を図る。)</p> <p>○痛みの激しい図書や資料価値のなくなった図書について、除籍を進める。</p> <p>○「宇宙」、「家読」、「健康」を意識した図書の購入を図る。</p> <p>○雑誌の充実を図るため、さらに「雑誌スポンサー制度」の拡充を図る。</p>
<p>学識経験者等の意見</p>	<p>① 図書館利用の増進に向けた取り組みが様々行われており、今後とも継続していただきたい。学校や他の社会教育、福祉等との連携が行われており、今後さらに他部局との連携を強化していただきたい。</p> <p>㊦ 「学校への希望図書の配本」での利用冊数や、「おはなし会」の参加者数が、前年度よりも増えており、これまでの、子どもの読書活動の振興に係る取組の成果であると思う。今後とも、学校と連携しながら、子どもの読書活動の充実に努めてほしい。</p> <p>㊧ 利用者満足度調査の結果(4.28)は目標値を上回るもので、良好である。今後とも、市民の読書に関するニーズを把握しながら、一人でも多くの方が本に親しみ、読書を楽しめるような図書館運営を目指してほしい。</p>

3 社会教育

【子ども館】

施策の項目	(6) 気軽に交流できる環境づくり																																								
方針・目標	市民の興味や関心を高めるような、施設を利用したイベント・講座を提供し、子どもから大人まで幅広く気軽に交流できる子ども館を目指します。																																								
目標値	・JAXAや秋田大学、他機関との連携を強化し、講座やイベント等の充実を図り、来館者数36,000人を目指します。																																								
事務事業の実績	<p>○利用状況の推移</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成26年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総利用者数</td> <td>36,242人</td> <td>32,271人</td> <td>34,991人</td> </tr> <tr> <td>プラネタリウム観覧者数</td> <td>4,713人</td> <td>4,915人</td> <td>5,177人</td> </tr> <tr> <td>事業活動参加者数</td> <td>(160件) 6,584人</td> <td>(115件) 6,743人</td> <td>(100件) 7,473人</td> </tr> <tr> <td>プラネタリウム団体観覧者数</td> <td>(63件) 1,589人</td> <td>(69件) 2,194人</td> <td>(60件) 1,940人</td> </tr> </tbody> </table> <p>○主なイベント・講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・科学遊び（ゴールデンウィーク）（8件 386人） ・「はやぶさ」の日イベント（フィルムケースロケット）（4件 117人） ・コズミックカレッジ「空気と飛行の科学」（1件 24人） ・パブリックビューイング（3件 61人） ・モデルロケット教室（4件 58人） ・宇宙教育ボランティア養成講座（1件 8人） ・お客様アンケート結果（5段階評価で平均4.69） <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>満足</th> <th>やや満足</th> <th>ふつう</th> <th>やや不満足</th> <th>不満足</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数(人)</td> <td>392</td> <td>83</td> <td>34</td> <td>2</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>割合(%)</td> <td>76.7</td> <td>16.2</td> <td>6.7</td> <td>0.4</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>○特別イベントを実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・銀河フェスティバルin能代2014(9/13・14 1,357人) <ul style="list-style-type: none"> 小惑星「イトカワ」微粒子特別展示(3日間 1,604人) <ul style="list-style-type: none"> (小惑星「イトカワ」微粒子展中学生受け入れ(4日間 1,467人)) 水ロケット製作&打ち上げ体験(2日間 126人) プラネタリウム無料上映(10回 385人) 2階宇宙館JAXA教授・ボランティアによる説明 <p>○宇宙科学への関心を高め、来館者のニーズに応える工夫をした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宇宙検定の実施（合格者数…上級21名、中級30名程度、初級150名程度） ・子ども館館内ウォークラリーの実施 ・2階展示室ガイドの実施 				平成26年度	平成25年度	平成24年度	総利用者数	36,242人	32,271人	34,991人	プラネタリウム観覧者数	4,713人	4,915人	5,177人	事業活動参加者数	(160件) 6,584人	(115件) 6,743人	(100件) 7,473人	プラネタリウム団体観覧者数	(63件) 1,589人	(69件) 2,194人	(60件) 1,940人	項目	満足	やや満足	ふつう	やや不満足	不満足	人数(人)	392	83	34	2	0	割合(%)	76.7	16.2	6.7	0.4	0
	平成26年度	平成25年度	平成24年度																																						
総利用者数	36,242人	32,271人	34,991人																																						
プラネタリウム観覧者数	4,713人	4,915人	5,177人																																						
事業活動参加者数	(160件) 6,584人	(115件) 6,743人	(100件) 7,473人																																						
プラネタリウム団体観覧者数	(63件) 1,589人	(69件) 2,194人	(60件) 1,940人																																						
項目	満足	やや満足	ふつう	やや不満足	不満足																																				
人数(人)	392	83	34	2	0																																				
割合(%)	76.7	16.2	6.7	0.4	0																																				

<p>点 検 評 価</p>	<p> <input type="checkbox"/>目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/>ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/>目標をやや下回る <input type="checkbox"/>目標を大幅に下回る </p> <p>[説明]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「はやぶさ」の帰還カプセルの展示を機にプラネタリウムの投影機の更新（「HAYABUSA」を上映）や施設のリニューアルによって、ここ数年、入館者数は増えてきた。 ・平成26年度は「はやぶさ」が持ち帰った小惑星「イトカワ」の微粒子展を行った。その結果、来館者数は目標を上回ることができた。 ・「宇宙のまちづくり」の一翼を担うため、2階宇宙館の案内をはじめモデルロケット教室等、子ども館では様々な宇宙に関する講座や取り組みを行った。その結果、市民はもちろんのこと市外からも多くの方が来館するようになってきた。
<p>課 題 及 び 今 後 の 取 組 の 方 向 性</p>	<p> <input type="checkbox"/>拡充 <input checked="" type="checkbox"/>継続 <input type="checkbox"/>廃止検討 <input type="checkbox"/>その他（ ） </p> <p>[具体的な課題及び取組]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○宇宙教育の内容をより充実させ、継続して実施する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ペットボトルロケットの製作・打ち上げ講習会（子ども館主催） ・宇宙少年団ノシロ分団との協力 ・宇宙教育の更なる情報発信（JAXA動画ニュース等の放映） ・モデルロケット指導者ライセンス取得講習会の開催（秋田大学と協力） ○小・中学校との連携を強化する。 <ul style="list-style-type: none"> ・プラネタリウムを用いた天体関連の授業の実施（小学校4年生対象） ・小学校理科担当者研修会の実施（年12回実施） ・出前講座の実施 ○アンケート調査で来館者の満足度を図り、今度の方向性を探っていく。（平成26年度からすべての講座でアンケートを実施している。） ○県内の各小学校等へ周知をする際に、隣接する河畔公園への大型遊具の設置について紹介し、相乗効果により利用者増を図る。 ○宇宙イベントとの連携を強化する。 <ul style="list-style-type: none"> 平成25年度までは一般公開日におけるペットボトルロケットづくりに協力してきた。また、26年度は宇宙イベント前に名古屋大学と連携し、キューブサット（人工衛星）の模型を展示した。今後更に連携できることがないか方向性を探っていく。

<p>学識経験者の意見</p>	<p>① 宇宙をテーマにした様々な取り組みが行われ、実績を積み上げてきており、大きな成果を挙げている。ぜひ息長く継続していただきたい。「宇宙のまちづくり」の中核として全市、全県、全国に発信していただきたい。</p> <p>① 「ペットボトルロケットの製作・打ち上げ講習会」や「小惑星『イトカワ』の微粒子展」を開催したり、「JAXA動画ニュース等」を放映したりするなど、イベントや展示等の充実が図られたことによって、来館者数が目標値を上回った。今後とも、魅力ある展示やイベントとなるよう工夫してほしい。</p> <p>② 学習の場としての子ども館を目指し、引き続き、小学校等と連携を図りながら運営にあたってほしい。</p>
-----------------	--

4. 生涯スポーツ (市民体育)

【生涯学習・スポーツ振興課】

施策の項目	(1) スポーツを楽しめる環境を整える
方針・目標	健康増進や生きがいづくりなど、幅広い年代層の多様なニーズに応じた生涯スポーツを進めていくため、各年齢層を対象としたスポーツ教室の開催やチャレンジデー、きみまち二ツ井マラソンなどのスポーツイベントへの参加や運営への関わりを促進するなど、市民誰もがスポーツを楽しめる環境を整えます。
目標値	①「スポーツに親しんでいる市民 (週1回以上) の割合」 平成29年度目標値60% (市民意識調査) ②「からだが健康だと思う市民の割合」 平成29年度目標値70% (市民意識調査) ③チャレンジデー目標参加率50% (2人に1人の割合)
事務事業の実績	①「スポーツに親しんでいる市民 (週一回以上) の割合」49.5% (昨年度48.6%、+0.9ポイント) ②「からだが健康だと思う市民の割合」57.6% (昨年度62.7%、△5.1ポイント) ③チャレンジデー参加率33.8% (昨年度26.4%、+7.4ポイント)
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る <p>①市内スポーツ施設の指定管理者である能代市体育協会やスポーツ推進委員、総合型スポーツクラブ等と連携しながら、市民のスポーツニーズの把握に努め、ニーズに沿った事業を展開しており、事業参加者へのアンケート結果では満足度は高い傾向にある。</p> <p>②生活習慣病やロコモティブシンドロームの予防などに向けて、地域や職場での健康づくり運動をさらに進めるほか、ライフサイクル、運動能力、健康状態など市民一人ひとりに適した運動・スポーツの実践を関係団体と連携しながら促進していく。</p> <p>③チャレンジデーの実施にあたり、市民への周知として広報、新聞、ポスター、チラシ、防災行政無線を利用したほか、自治会、事業所、各種団体等への参加協力依頼を行ったが、周知時期の遅れや市民参加型イベントの不足などがあり、参加率は昨年比7.4%増の33.8%となったが、目標の50%には届かなかった。</p>

Ⅲ 教育委員会の運営状況

(1) 教育委員会の開催状況

① 開催状況

定例会 12回 臨時会 3回

② 審議された案件等

年月日	区分	番号	件名
H26. 4. 24	定例会	議案 第37号	能代市学校医の委嘱について
		議案 第38号	能代市立小、中学校学校評議員の委嘱について
		議案 第39号	能代市学校運営協議会委員の任命について
		議案 第40号	能代市心身障害児就学指導委員会委員の任命について
		議案 第41号	能代市公民館活動協力員の委嘱について
		議案 第42号	能代市二ツ井公民館分館運営委員の委嘱について
H26. 5. 22	定例会	報告 第5号	能代市奨学選考委員会委員の委嘱について
		議案 第43号	能代市教育委員会教育長の任命について
		議案 第44号	能代市社会教育委員の委嘱について
		議案 第45号	能代市公民館運営審議会委員の委嘱について
		議案 第46号	能代市子ども館運営協議会委員の委嘱について
		議案 第47号	能代市文化会館運営協議会委員の委嘱について
H26. 6. 27	定例会	議案 第48号	能代市子ども読書活動推進計画策定委員会委員の委嘱について
		協議 第4号	平成26年度能代市一般会計補正予算について
		報告 第6号	能代市生涯学習奨励員の委嘱について
		議案 第49号	能代市心身障害児就学指導委員会委員の任命について
H26. 7. 24	定例会	議案 第50号	能代市立図書館協議会委員の任命について
		議案 第51号	能代市子ども読書活動推進計画策定委員会委員の委嘱について
		議案 第52号	能代市スポーツ推進計画策定委員会委員の委嘱について
H26. 7. 29	臨時会	議案 第53号	能代市生涯学習施設サン・ウッド能代の管理運営に関する規則の一部改正について
		報告 第7号	能代市青少年問題協議会委員の委嘱について
H26. 7. 29	臨時会	議案 第54号	平成27年度使用能代市立小学校教科用図書の採択について
H26. 8. 28	定例会	議案 第55号	能代市教育委員会の事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について
		議案 第56号	能代市学校給食アレルギー対応食の提供に関する要綱の制定について
		議案 第57号	能代市社会教育関係団体事業活動費補助金交付要綱等の廃止について
		協議 第5号	平成26年度能代市一般会計補正予算について
		報告 第8号	能代市社会教育関係団体事業活動費補助金交付要綱の制定について
		報告 第9号	能代市青少年育成事業補助金交付要綱の制定について
H26. 9. 25	定例会	報告 第10号	能代市民俗芸能保護管理費補助金交付要綱の制定について
		報告 第11号	能代市生涯学習推進協議会委員の委嘱について
		議案 第58号	能代市心身障害児就学指導委員会委員の任命について
H26. 10. 30	定例会		案件なし
H26. 11. 25	定例会	協議 第6号	損害賠償の額を定め和解することについて
		協議 第7号	能代市立図書館の指定管理者の指定について
		協議 第8号	能代市総合体育館等スポーツ施設の指定管理者の指定について
		協議 第9号	平成26年度能代市一般会計補正予算について
H26. 12. 24	定例会	報告 第12号	能代市教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部改正について
H27. 1. 26	定例会		案件なし
H27. 2. 17	定例会	議案 第1号	能代市立図書館の管理運営に関する規則及び能代市立図書館協議会規則の一部改正について
		議案 第2号	能代市立図書館処務規程の廃止について
		議案 第3号	能代市子ども読書活動推進計画について
		議案 第4号	能代市スポーツ推進計画について
		協議 第1号	土地の処分について
H27. 3. 3	臨時会	協議 第2号	平成26年度能代市一般会計補正予算について
		協議 第3号	平成27年度能代市一般会計予算について
		議案 第5号	平成27年度能代市立小・中学校教職員の人事異動について
H27. 3. 25	臨時会	議案 第6号	平成27年度能代市教育委員会関係職員の人事異動について

年月日	区分	番号	件名
H27.3.26	定例会	議案 第7号	能代市教育委員会会議規則等の一部改正について
		議案 第8号	能代市教育委員会事務局組織規則の一部改正について
		議案 第9号	能代市教育委員会事務局処務規程及び能代市教育長の権限に属する事務の委任に関する規程の一部改正について
		議案 第10号	能代市教育委員会職員の職名に関する規則の一部改正について
		議案 第11号	能代市教育委員会事務決裁規程の一部改正について
		議案 第12号	能代市立小、中学校管理規則の一部改正について
		議案 第13号	能代市立小中学校事務共同実施組織運営規程の制定について
		議案 第14号	能代市立小中学校事務共同実施推進協議会設置要綱の制定について
		議案 第15号	能代市遠距離通学費補助金交付要綱の廃止について
		議案 第16号	能代市スクールバス運行管理要綱の一部改正について
		議案 第17号	能代市放課後子ども教室運営委員会設置等に関する要綱の一部改正について
		議案 第18号	能代市総合体育館管理規則等の一部改正について
		議案 第19号	能代市学校医の委嘱について
		議案 第20号	能代市学校薬剤師の委嘱について
		議案 第21号	能代市教育相談員の委嘱について
		議案 第22号	能代市適応指導教室指導員の委嘱について
		議案 第23号	能代市心の教室相談員の委嘱について
		議案 第24号	能代市社会教育指導員の委嘱について
		議案 第25号	能代市子ども館館長の任命について
		議案 第26号	能代市子ども館指導員の委嘱について
		議案 第27号	能代市スポーツ推進委員の委嘱について
		議案 第28号	平成27年度能代市教育委員会の重点目標について
		議案 第29号	平成27年度能代市学校教育指導の重点について
		議案 第30号	平成27年度能代市公民館運営方針について
		議案 第31号	平成27年度能代市文化会館運営方針について
		議案 第32号	平成27年度能代市立図書館運営方針について
		議案 第33号	平成27年度能代市子ども館運営方針について
		議案 第34号	平成27年度能代市勤労青少年ホーム運営方針について
		議案 第35号	平成27年度能代市働く婦人の家運営方針について
		議案 第36号	平成27年度能代市スポーツ推進基本方針について
		報告 第1号	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例及び能代市教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部改正について
		報告 第2号	能代市長の権限に属する事務の補助執行に関する規則の一部改正について
		報告 第3号	教育委員会委員の任命について
		報告 第4号	能代市奨学金貸与に関する規則の一部改正について
		報告 第5号	能代市遠距離通学費補助金交付要綱の制定について
		報告 第6号	能代市青少年問題協議会委員の委嘱について
報告 第7号	平成27年度能代市生涯学習推進方針について		
報告 第8号	平成27年度能代市青少年健全育成活動方針について		

(2) 教育委員の活動状況

年月日	行事
H26.5.26	平成26年度全州市町村教育委員会委員長・教育長会議（第1回）
H26.6.3	平成26年度能代山本市町教育委員会連合会総会
H26.7.18	平成26年度東北六州市町村教育委員会連合会教育委員・教育長研修会
H26.10.27	平成26年度全州市町村教育委員会委員長・教育長会議（第2回）
H26.10.9 ～11.21	教育長の学校訪問へ教育委員同行（淳城南小、能代東中、能代南中、能代一中、第四小、浅内小、鶴形小、竹生小、朴瀬小、常盤小・中、向能代小、第五小、二ツ井小、崇徳小、東雲中、二ツ井中、能代二中、淳城西小）

能代市教育委員会事務点検・評価報告書
(26年度対象)

能代市教育委員会

〒018-3192

能代市二ツ井町字上台1番地1

(担当 教育総務課)

電 話 0185-73-2757

FAX 0185-73-6459

E-mail kyouiku@city.noshoro.akita.jp